

2024年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社オープンハウスグループに「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社オープンハウスグループ（代表取締役社長：荒井 正昭）に対し、「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社オープンハウスグループに対する評価結果は、「サステナビリティマネジメント」、「環境配慮型製品・サービスにおける取組」、「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGsへの貢献意欲をお持ちであるとの判断となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が進んでいるとされました。

- ① マテリアリティ（重要課題）として「健康と安全な暮らしの実現」「人的資本の価値最大化」「人材採用の強化」「脱炭素社会への貢献」「ガバナンス・コンプライアンスの改革」「顧客満足の向上」を掲げ、本業を通じて社会課題に取り組む姿勢を示すと共に、「サステナビリティ委員会」を設置し、マテリアリティの項目ごとにESGリスクとその対応への進捗状況を管理するなど、全社的なサステナビリティ推進体制を整備しておられる点。
- ② グループとしての気候変動対策への中長期的な貢献を目指した行動計画「脱炭素プロジェクト」を策定し、戸建住宅の購入顧客に対して実質再生可能エネルギー100%の電力を提供するなど、顧客の脱炭素に貢献。また、群馬県に設けた「オープンハウスの森」において、毎年社員向けの森林保全研修を実施し、森林サイクルの保全に携わるとともに、社員の環境問題への理解も促進しておられる点。
- ③ ダイバーシティや女性活躍推進に向けて、「働き方」を「デザインする」ことを設置目的とした「ワークデザイン推進委員会」を設置。その下部組織として「女性活躍推進ワーキンググループ」

プ」を設け、働く時間や年間休日を変更できる両立支援制度「OPEN キャリアデザイン制度」や生理休暇の導入、妊活サポートなど具体的な施策を立案・実行しておられる点。

加えて、「地域共創」事業を通じて、SDGsが示す「目標11：住み続けられるまちづくりを」等のへの貢献に向けた意欲をお持ちです。

株式会社三井住友銀行では、「ESG/SDGs 推進分析融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

**※1 ESGとは**

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

**※2 SDGsとは**

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで。

以 上